

第一ゲーテアヌム 定礎100周年記念 1913-2013

100 Jahre seit der Grundsteinlegung für das Erste Goetheanum

記念展示会 2013年9月2日(月)―6日(金)

10:00-20:00 [無料]

会場: 東京ドイツ文化センター・ロビー

記念講演会 2013年9月20日(金)

16:30-20:00 [入場料:2,000円]

会場: 東京ドイツ文化センター・ホール

講演: 上松 佑二(東海大学名誉教授)

香山 寿夫(東京大学名誉教授)

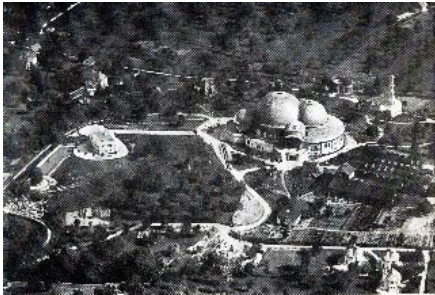
シンポジウム:

司会: 石川 恒夫(前橋工科大学教授)

主催: 一般社団法人 普遍アントロポゾフィー協会―邦域協会日本

第一ゲーテアヌム定礎100周年記念1913-2013

100 Jahre seit der Grundsteinlegung für das Erste Goetheanum



上から:ドルナツハの丘、航空写真1920年頃/第一ゲーテアヌム上棟(1914年)/石膏モデルとルドルフ・シュタイナー(1914年)/内部階段/ホール内観

1913年9月20日 スイス・ドルナツハの丘の上に第一ゲーテアヌムの礎石が敷かれました。第一次世界大戦勃発の前年です。丁度100年後の2013年9月20日私たちは日本でもその定礎100周年を記念する展覧会を行います。ゲーテアヌムはルドルフ・シュタイナー(Rudolf Steiner, 1861-1925)の四つの神秘劇の上演劇場であり、同時に精神科学自由大学の活動を中心とするアントロポゾフィー協会の建築です。ドイツではワイマールのバウハウスと同時代の総合芸術作品であり、様々な分野における精神科学的研究と、建築、彫刻、絵画、音楽、演劇、オイリュトミー等の活動の中心でもありました。建築はしかし完成後間もなく1922年の大晦日夜半に炎上してしまいました。1923年のクリスマス会議において普遍アントロポゾフィー協会が再建され、建築も今度は鉄筋コンクリート造によって第二ゲーテアヌムが建設され、今日に至っています。

この定礎100周年はそれゆえ、単に過去を振り返る記念の祝祭ではなく、世界中に1000校を超える自由ワルドルフ学校や幼稚園、バイオダイナミック農業、医学、芸術等様々な分野における未来への礎石を意味するものでもあります。

記念展示会 2013年9月2日(月)ー6日(金)

会場: 東京ドイツ文化センター・ロビー 10:00-20:00(入場無料)

* 約30点のパネル展示と石膏模型

記念講演会 2013年9月20日(金) 16:30-20:00

* 15:30開場。受付後、会場にてパネル展示をご覧ください

会場: 東京ドイツ文化センター・ホール

入場料: 2,000円

定員: 200名

プログラム(予定)

オイリュトミー 定礎のことば

講演: 第一ゲーテアヌム定礎100周年記念ー建築の彼方へー

上松 佑二(東海大学名誉教授)

いのちのかたちー今、改めて、シュタイナーの建築とは何かー

香山 寿夫(東京大学名誉教授)

シンポジウム: 総合芸術作品としてのゲーテアヌム建築

司会: 石川 恒夫(前橋工科大学教授)

申込: 普遍アントロポゾフィー協会・邦域協会日本 事務局

Fax: 047-336-4178

e-mail: country.society.japan@gmail.com

「9月20日講演参加希望」と明記の上、Faxまたはメールでお申込みください。

(参加費は当日、会場でご精算ください)

主催: 一般社団法人 普遍アントロポゾフィー協会・邦域協会日本

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-10-2、102

後援: ドイツ学術交流会DAAD/公益社団法人日本建築士会連合会/

公益社団法人日本建築家協会JIA/一般社団法人東京建築士会/

NPO法人日本アントロポゾフィー協会/四国アントロポゾフィークライス/

アントロポゾフィー音楽療法士の会/NPO法人東京賢治シュタイナー学校/

NPO法人横浜シュタイナー学園/NPO法人日本バイオダイナミック協会/

日本アントロポゾフィー医学のための医師会

共催行事: 第一ゲーテアヌム定礎100周年記念 展示会+講演会 in 長崎

日時: 2013年10月20日(日)

会場: Gallery hexa 6 株式会社ハウジングロビー (852-8105 長崎県長崎市目覚町4-2)